

項目	観点	教科書名					
		新編 新しい算数(2・東書)	新版たのしい算数(4・大日本)	みんなと学ぶ 小学校 算数(11・学図)	小学算数[17・教出]	わくわく 算数(61・啓林館)	小学算数(116・日文)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	○基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるために、単元間でどのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入のページには、既習事項と関連させた話題や、算数的活動を取り入れた話題が掲載されており、単元の学習に対する関心を高められるよう工夫されている。 毎時間の練習問題のほか、「力をつけるもんだい」、「算数をつかってやってみよう」、「しあげ」の問題とステップアップしながら練習できるようになっており、基礎基本が定着できるように配慮されている。 目次では、各単元に対して「前の学習」と「後の学習」を示し、関連する学年(中学校含む)と単元名を掲載している。系統性を意識し、復習や予習をすることで基礎的知識・技能の定着が図れるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年とも上下巻でなく、合本1冊で編成されているため、単元間のつながりを確認できたり、当該学年における既習事項の振り返りや学び直しが容易にできたりする点は、他社にはない特徴である。 全国学力学習状況調査で課題とされた部分をフォローする問題を提示している。 単元間に適宜復習ページ「ふくしゅう」を設け、十分な量の練習に取り組み、既習内容の確認ができるよう配慮されている。 単元の問題に対応した、巻末補充問題「レットトライ」を掲載し、授業の進捗や児童の習熟度に応じて選択的に使用できるようになっている。 5,6年生には、前年度までの学習を試す問題「チェックアンドトライ」を掲載し、基礎・基本の定着度を確認できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の導入のページには、学習内容に関連した身近な話題を提供しており、興味・関心を高めて導入につなげることができるよう工夫されている。 単元末の問題には、「練習」「力だめし」があり、確認しながら技能の定着を図ることができるよう工夫されている。 目次の前に既習事項のまとめが掲載されており、振り返ることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入に「どんな学習がはじまるのかな」が設けられている単元があり、学習につながる話題を提供している。 各単元末には「まとめ」のコーナーを掲載し、数式や言葉で分かりやすくまとめられるよう配慮されている。 単元間に適宜復習ページ「学習をふりかえろう」を設け、十分な量の練習に取り組み、既習内容の確認ができるよう配慮されている。 毎時間の練習問題の他に「ステップアップ算数P.O.O」が設定され、巻末の「きほんの問題」、「レベルアップ問題」に接続し、基礎的・基本的な技能定着のための練習ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新単元に入る前に「じゅんぴ」で練習することにより、既習事項の確認や技能の復習ができるように工夫されている。 単元間に「ふくしゅう」のページを設け、既習事項の確認を繰り返し行うことで、基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着が図られるよう配慮されている。 単元学習後に「たしかめましょう」のページがあり、既習内容の定着ができるよう配慮されている。 毎時間の練習問題の他に「もっと練習ー〇〇ページ」が設定され、巻末の算数問題に接続し、基礎的・基本的な技能定着のための練習ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新単元に入る前に「次の学習のために」で練習することにより、既習事項の確認や技能の復習ができるよう工夫されている。 毎時間の練習問題のほか、「たしかめポイント」、「ふくしゅう」など段階的に練習できるようになっており基礎基本が定着できるように配慮されている。 巻末の「じっくりチェック」を通して、今後の学習のもとになる内容を確かめられるようにしている。
	○日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるために、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習のめあてが濃いピンク色で文章で明記されているため、見通しをもち学習をすすめることができる。また、本時の要点や学習のまとめが示されているので、結論が明確になっている。 2年生以上に「考えよう伝えよう」が適宜設定され、根拠に基づき筋道立った説明のモデルが示してある。他者の考えを説明することで、思考力、表現力を育てる配慮がされている。 導入では身近な生活で算数が使われている場面を絵や写真で1ページ使って提示して問いをもたせている点が特に工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 考え方を数式や言葉で説明する箇所が充実している。根拠に基づき筋道立った説明のモデルが、詳しく丁寧に示されており、数学的な思考を正しく表現する方法や論理的な考え方について学ぶことができるよう工夫されている。 考え方を大切に扱う単元では、考えを書き込むスペースを設けている。 演算決定を大切に扱ったり、数直線での考え方を多く取り上げたりしている。図だけ掲載するなど、読解力を高める工夫もされている。 計算単元などでは、「学習をひろげよう」を適宜設け、発展的に考える態度を養えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入や問題に身近な場面である写真や絵を活用し、問題を把握して見通しがもてるように工夫されている。 考え方の例が他社に比べると大きくはつきり分かるように載っている。例示の数も多く、思考力を育てる配慮がなされている。 算数学習でよく用いる考え方として類推、規則、演繹を取り上げ、児童が分かる言葉で示されており、問題解決の方法や手順についての理解が進むような工夫がなされている。 5年生の「体積」や「図形の面積」で式や図を読む力をつける問題など、思考力や表現力を高めるために「チャレンジ」というページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「?(はてな)」には問いになる文章が、吹き出しにはつづがきが、「!(なるほど)」にはまとめになる文章がそれぞれ書かれていて、思考の手がかりが適宜記載されている。 学習問題に通し番号がふられ、さらに、解決に向けた問いを並べることで、順序よく考えていくようになっている。 数と計算の領域では、主に計算の仕方を考えることに重きをおいた流れになっている。 筋道を立てて説明されたモデルが提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元に入る前に、日常の事象を取り上げ、問いをもたせてから単元のめあてが書かれているので、見通しをもちやすくしている。 ページの右側に、既習事項をもとに見通しをもって解決できる手がかりとなる「きっかけ」「ふりかえり」を示している。 「わくわく算数学習」では、算数の学び方や話し合いの仕方を例示し、表現力の育成に配慮している。 考え方を説明する場面では、根拠に基づき筋道を立てて説明するモデルを示しているため、正しい記述表現(論述)の方法を学ぶことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「よみとろう あらわそう」のページでは、お話、絵や図、ことば、式を相互に関連づけたり、テープ図や数直線図のよみ方、かき方をまとめたりして、数学的な思考力、表現力を育てるようになっている。 各ページの右側には、考えるポイントが明示されている。 考え方の例とともに、巻末の「算数で使いたいことば、考え方」では発表例についても具体的に示されていて、表現力を育てる配慮がされている。
	○算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付かせるために、どのように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「算数をつかってやってみよう」では、日常の事象と関連付けた内容や数理的な処理のよさに気付くことができるページ設定の工夫が見られる。 友達同士の考え方を説明し合う場面を多く取り入れ算数的活動の楽しさの共有化を図ることができるよう配慮されている。また、作業的・体験的な活動が特に充実している。 「数と計算であそぼう」のコーナーでは、数の不思議な性質やきまりを発見することができるよう工夫された問題設定がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 高学年では、「数直線図のかき方」を示し、乗除演算決定の判断や理解を深めることができるよう工夫されている。他社よりも数直線を用いた考え方を重視し丁寧に扱っており、数直線を用いた処理のよさに気付かせる配慮がある。 単元の導入において、既習の学習を活用し、日常における事象を数理的にとらえる学習活動を設定している。単元全体の学習活動を見通しながら、学び直しを数理的処理に活かせるよう配慮している。 考えを図や式、言葉で表記するスペースを設けたり、様々な考え方を掲載したりしている。これにより、自分が考えたことを表現したり、他者の表現を読み取ったりする活動が充実するようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な算数的事象を写真や絵を基に紹介したり、勉強したことを身の回りの生活や社会に生かすページを設定したりすることにより、数理的な処理のよさに気付くよう工夫されている。 練習問題や「力だめし」では、自己評価のチェックやその学習がされたページ数や目標が示されている欄が設けてあり、学び直しの充実に配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「算数ワールド」では、単元の学習内容に繋がる算数的活動を設定し、楽しみながら関心を高められるようになっている。 「学んだことを使おう」のコーナーを設定し、学習したことを生かしながら算数的活動の楽しさを味わえるようになっている。 多くの場面で算数を使って考えることを促すことで、数理的に処理することのよさに気付いていけるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べたり考え方を説明し伝え合ったりする場面では、「めあて」が朱書き文で示され、学習活動を明確にしている。また、「めあて」に対して「まとめ」が図や数式、言葉で示されているので、学習の一貫性が保障されている。 単元の導入の前に「算数アスレチック」のページを設定したり、既習の学習内容の振り返りをページ右側に示したりして、習得したことを活用し新たな探求へと導くことで、数理的な処理のよさに気付くことができるよう配慮されている。 単元間の「学びをいかそう」や、巻末の「発見!算数島」のページによって、算数的活動の楽しさも味わえるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いち・に・算活」のページが設定され、児童が意欲をもって取り組めるような課題を提示することで、算数的活動の楽しさが意識できるよう工夫されている。 ページの右端に考え方の着眼点が示されていることにより筋道を立てて考えながら数理的に課題を処理することができるよう配慮されている。 巻末に「算数をいかそう」、「算数に親しもう」「考える力をのばそう」を設定し、日常生活に関わる問題や応用・発展的な問題を解決しながら、数学的な思考と処理のよさに気付くことができるよう工夫されている。

	<p>○学習したこと を進んで生活や 学習に活用しよ うとする態度を 育てるために、 どのように配慮 されているか。</p>	<p>・「算数をつかってやってみよう」では、 写真などを示し、生活に使われている 様子がよく分かるようになっている。ま た、写真が算数的活動の手がかりと なっていて、取り組みやすいよう特に配 慮されている。 ・「算数のおはなし」では、学習したこ とを生活に結びつける語や場などを取 り上げ、興味をもつように工夫されて いる。 ・「算数の目で見てみよう」では、生活 場面から問題を設定し、学習したこ とが活用できるよう配慮をされている。 ・問題や練習の中に、身の回りの算 数や問題に結びつける場面の写真が多 く取り入れられており、算数を身近に感 じられるよう配慮されている。</p>	<p>・導入や問題の中に、生活と結びつい た内容や他教科と関連した内容が取り 上げられている。写真も多く、生活の中 の算数をイメージしやすいよう配慮され ている。 ・「算数たまたまばこ」で、生活の中で活 用できる問題や、生活の中の算数を探 す活動などが取り上げられている。絵や 写真を添付し、興味をもって取り組める よう配慮されている。 ・「もっと算数たまたまばこ」のコーナー を設け、学習したことを生かしながら意 欲をもって挑戦できるような問題を提 示している。</p>	<p>・導入や課題の中で、身近な場面の写 真や絵が多く取り上げられており、学 習内容を生活の中で活用できるようにな っている。 ・目次で前学年との系統性が一目で分 かるようになっており、既習事項を生か そうとする態度を育てることができる。 ・「チャレンジ」では、日常生活に活用 できる問題が設定されており、興味や関 心を高めながら問題解決に取り組むこ とができるよう工夫されている。</p>	<p>・児童の日常生活に関わりのある問題 を取り上げ、生活に算数が活用できるこ との意識付けを図っている。また、原寸 大の葉書や1円玉などの写真を載せる など、身の回りのものと算数を結びつ けるよう、配慮されている。 ・「学んだことを使おう」で、学習したこ とを活用する場面や他教科とも関連さ せる総合的な問題が取り上げられてい る。 ・「広がる算数」では、生活や上の学年 の算数に広がる話題を提示し、算数を 活用しようとする意識を高めるような 工夫をしている。 ・「身のまわりの算数」では、算数と日 常的事象と結びつける話題や問題を提 示している。</p>	<p>・「学びをいかそう」で、生活に密着した 問題が取り上げられ、生活の中で算数 で学んだことを活用しようとする態度を 育成できるよう配慮されている。 ・特に、図形や量と測定の単元では、問 題に関連する写真や活動の様子を表し た写真が多く提示されており、生活の中 の算数として考えられるようになってい る。 ・高学年の「算数から仕事へ」のコー ムには、算数に関心をもち、これからの 生活に活かそうとする工夫が見られる。</p>	<p>・単元のアプローチページにおいて、児 童の身の回りの生活場面の絵や写真を 取り上げ、生活や他教科との関連を図 るとともに、生活の中の算数をイメ ージしやすくしている。 ・「いち・に・算活」のコーナーでは、学 習したことを生活の中で活用するよう な課題を提示している。活動の手順も 示されていて取り組みやすい。</p>
<p>2 内容の 程度及 び取り扱 いについ て</p>	<p>○基礎・基本の 確実な定着を 図るために、学 習内容の取り 扱いや練習問 題に、どのよう な工夫がみられ るか。</p>	<p>・「おぼえているかな？」には、今までに 学習した内容を振り返る問題があり、基 礎・基本の定着を図るための工夫が見 られる。 ・単元末には、「力をつけるもんだい」と 「しあげ」があり、「しあげ」には、分 からなかったりできなかったりしたとき に、どのページの何番を見直せば良い のか、ていねいに記載されている。 ・練習問題を解いた後、個人の進 度に応じて巻末の「ほじゅうのもん だい」に進めるよう、指示が記載され ている。</p>	<p>・「チェックアンドトライ」に、今までに 学習した内容を振り返る問題があり、基 礎・基本の定着を図るための工夫が見 られる。 ・単元末の「まとめの練習」には、戸惑 った時に、どのページの何番を見直せば よいのかが、丁寧に記載されている。 ・練習問題の後に、巻末の「レツ トライ」の関連問題に接続して進めら れるよう、ページや番号が記載されて いる。 ・計算方法についての練習問題では、 誤りを正す問題を提示することで、児 童が同じ誤りをしないようにする工夫 が見られる。</p>	<p>・4年上では、わり算の筆算の仕方が 図を使って分かりやすく説明されてい る。 ・穴埋め型の問題が多く、基礎・基本 の定着を図れるような工夫が見られる。 ・「ノート名人になろう」のページを 設け、よりよいノートのまとめ方のモ デルが記載されていて、学習内容の確 実な定着を図れるような工夫が見られ る。 ・単元末の「力だめし」「復習」には、 分かったりできなかったりしたとき に、どのページの何番を見直せば良い のかが記載されていて、復習がしやす くなっている。</p>	<p>・「よくあるまちがい」や「言葉の広 場」等が随所に掲載されており、自分 でいろいろなことに気づきながら学 習できるよう工夫されている。 ・単元末の「まとめ」の前半は、穴埋 め型の問題を解決しながら、基礎的 学習内容の確認ができるようになって いる。 ・練習問題の解決後、個人の進 度に応じて行える「ステップアップ算 数」を解答付きで掲載し、多くの問 題を解きながら学習内容の定着が 図れるようになっている。</p>	<p>・単元の最初に、既習事項を使った 問題があり、問題の確認後に「これ から学んでいくことのめあて」につ なげていくよう工夫されている。 ・ページの右側に「きっかけ」や「ふ りかえり」などのヒントが記載され ており、課題に取り組みやすくなっ ている。 ・単元末の「たしかめましよう」や 「算数ストレッチ」には、分 からなかったりできなかったりした ときに、どこを見直せば良いの かが丁寧に記載されている。 ・めあてやまとめが記載されてい て、課題解決学習が進めやすくな っている。</p>	<p>・単元末の「たしかめポイント」には、 分らなかつたりできなかったりした ときに、どのページの何番を見直せば 良いのかが、丁寧に記載されている。 ・巻末に「学び方ガイド」があり、課 題解決学習の進め方が分かりやす くまとめられている。 ・右欄に「学び合おう」や「まとめ よう」など、課題解決学習を進め やすくする工夫が見られる。</p>
<p>○関心意欲を 高め・主体的な 学習活動を促 すための工夫 ○関心・意欲を 高め、主体的に 学習させるた めに、教材や学 習活動では、ど のような工夫が みられるか。</p>	<p>・2年生の上では、原寸大の葉書やク レヨン、消しゴムなどの写真を載 せて、意欲的に長さの測定ができる よう工夫されている。 ・「かたちであそぼう」では、タン グラムやブロック遊びなど、図形に 関心をもち主体的に活動に取り組 ませるような工夫が見られる。 ・問題に写真やイラストを多く用 いることで、興味をもって取り組める よう配慮されている。 ・巻末の算数自習ページに、「おもしろ 問題にチャレンジ」があり、主体的 に学習できるよう工夫されている。</p>	<p>・各巻頭の「算数の学び方」にお いて算数における一連の学習の流れ やノートの書き方、話合いの観点 などが示されている。 ・各単元の導入のページには、学 習内容に関連した身近な話題を提 供しており、興味・関心を高めて 単元学習につなげることができ るよう十分に工夫されている。 ・作業的・体験的な活動が多く 仕組まれており、児童が主体的 に活動に取り組むような工夫が 見られる。 ・6年の「わくわく算数ミュージア ム」や「数学の世界へ」では、算 数と生活の関連や算数と歴史、算 数の本の紹介など、関心や意欲 が高まるようなページを載せてい る。</p>	<p>・3年下の「円」や5年の「こみ 具合」「公倍数」など、実際に体 感することで理解を深める課題が 多く、意欲を高め、主体的に取 り組むような配慮がなされている。 ・問題に写真や絵を多く用いるこ とで、興味をもって取り組めるよ うな配慮がなされている。 ・問題解決のヒントとなる吹き出し が多様されていて、主体的に学 習できるよう工夫されている。</p>	<p>・算数を学習する上での大切な考 え方や内容を掲載した「まなびの 手引き」の掲載により、これを参 考にしながらかつスムーズに学 習を進められるようになっている。 ・単元末のまとめが4コマまんが で書かれてあり、興味をもって 取り組めるよう配慮されている。 ・「算数ワールド」では、ペンタ ゴンパズルや油分け算など、算 数に関心をもち主体的に活動に 取り組ませるような工夫が多く 見られる。 ・「学びのマップ」に学習内容の 系統性を示し、既習内容と関連 させながら自分で学習を進めら れるようにしている。</p>	<p>・吹き出しが効果的に使われてい て、関心・意欲を高める工夫が 見られる。 ・問題解決の途中に「おたすけ」 が記載されていて、主体的に取 り組むための工夫が見られる。 ・「学びをいかそう」では、算 数への興味・関心が高まるよ うに問題が工夫されている。 ・巻末の「算数島」では、魔 方陣や図形の敷き詰めなど、算 数に関心をもち主体的に活動に 取り組ませるような工夫が多く 見られる。</p>	<p>・イラストや写真、図などが大き く示されていて、意欲を高める 工夫が見られる。 ・6年生巻末の「マテマランドの 探検」や「算数をいかそう」では、 トピック問題やパズル問題など、 主体的に楽しく学習できるよう になっている。 ・右欄に「問いかげ」が記載され ており、対話形式で課題解決に 取り組めるよう配慮されている。</p>	
<p>○個に応じた指 導のための工 夫 ○個に応じた細 やかな指導を 充実するた めに、どのよう な工夫がみられ るか。</p>	<p>・ものさしやコンパス、分度器の 使い方を、写真を用いて丁寧に 解説してある。正しい使い方が 身につくよう、詳しい解説が 段階的に記載されている。 ・巻末の「ほじゅうのもん だい」では、問題に、△に ていっていると口少しむずかしい のマークをつけることで、個 に応じて学習を進めること ができるような配慮がある。 ・キャラクターの吹き出しの 言葉が途中でかき消されてい ない。その後の言葉 を考えることで、思考力や表 現力が高まるよう工夫されて いる。</p>	<p>・直線の引き方やコンパスの 使い方などが、写真を用いて 丁寧に分かりやすく解説して ある。 ・単元末の「まとめの練習」 には、解決に戸惑った時に、ど のページの何番を見直せば 良いのかが、丁寧に記載され ている。 ・「算数たまたま箱」には、 生活の中にある算数の話題 や発展的な課題が記載され ており、実態を考慮してきめ 細かく指導する工夫が見られ る。 ・計算問題にはタイプごと に青い印が付いており、遅 れがちな児童にこれだけ を取り組ませられるよ うになっている。</p>	<p>・巻末の「力をつける問題」 では、「サポート」→「ほ じゅう問題」→「チャ レンジ」と段階的に学習 できるようなページを 設け、個に応じた細やかな 指導ができる工夫が見られ る。 ・「チャレンジ」の問題は、 生活に算数を生かす全国学 力・学習状況調査のB問 題を意識した出題になっ ている。</p>	<p>・課題解決に戸惑った際、「 学びの手引き」や「学 びのマップ」を参考に できるようにしている。 ・巻末の「はってん」の コラムには、宇宙やロボ ット、スカイツリーと算 数の関係が記載されて おり、個人の興味・関 心を考慮した内容にな っている。 ・練習問題の解決後 に行う「ステップア ップ算数」を解答付 きで掲載し、個人の 進度差に対応するよ うになっている。</p>	<p>・個人の進度に応じて、巻末の 「もっと練習」へ進める ように指示が記載されて ある。 ・振り返りの言葉や、 学習感想などの記載 があり、個に応じた細 やかな指導ができる 工夫が見られる。 ・「よみとる算数」の 問題は、生活に算数 を生かす全国学力・学 習状況調査のB問題 を意識した出題にな っている。 ・「九九のえんぱん」 や「円周測定マシ ン」など、巻末の付 録が豊富である。</p>	<p>・単元の終わりには「た しかめポイント」が、 巻末に「じっくり チェック」「ぐっ とチャレンジ」が設 定され、個に応じた 指導の充実が図ら れている。 ・右側のスペース には、ヒントや既 習の内容を示すこと で、自力解決を助 けたり、つまずき やすい問題を重 点的に取り上げ たりする工夫が 見られる。</p>	

3 構成・配 列・分量	○系統的な教材及び学習内容の配列には、どのような特色があるか。	・数と計算の領域では、小数・分数の意味と計算が続けて配列され、系統的に学習することができる。 ・数量関係の内容をできるだけ他領域の内容(体積と比例、分数と時間等)と関連付けて取り扱うことで、前の学習を活用して学習できるように配列されている。 ・6年の図形の領域では、平面図形と空間図形の内容を連続して配列することで、学習効果や効率を考慮している。 ・数単元おきに既習内容の確認の問題が配列されている。	・数と計算、量と測定、図形、数量関係の領域をバランスよく配列して児童の学習意欲が続くようにしている。 ・計算の指導では、計算の原理の理解→原理の活用→方法の確認→アルゴリズムの定着という展開にし、効果的に学習が進められるように配慮している。 ・6年で「文字を使った式」の学習を早い時期に入れ、その後の学習に生かせるよう十分配慮されている。 ・5年の小数のかけ算とわり算の間に「体積」を入れ、かけ算の定着が図られるよう配列している。 ・3年の数と計算の領域ではかけ算のきまりと筆算を早い時期に学習し、定着が図られるよう配慮されている。 ・数単元おきに既習内容の確認の問題が配列されている。	・系統的に学習できるように配列されている。数と計算の領域では、4年のわり算の筆算や5年の分数の加減乗除などで同系統の単元を連続させて学習できるように配列されている。 ・学期ごとに当該学年の既習の内容確認問題が配列されている。 ・6年生には「中学校へのかけ橋」という別冊があり、中学校での学習との系統性を理解することができる。	・系統的に学習できるように配列されている。巻末には、系統図を掲載し、つながりを意識しながら学習できるようにしている。 ・6年の「文字と式」の学習を早い時期に入れ、その後の学習に活用できるように配列されている。 ・数単元おきに既習内容の確認問題がバランスよく設定されている。	・各領域を交互にバランスよく配列されている。 ・5年の数量関係の領域を最後に配置し、他領域と関連付けている。 ・単元間に「算数アスレチック」として、前単元までの復習や次単元の準備問題が設定され、既習事項が確実に定着されるように配置されている。	・領域ごとにまとめて学習できるように配列されている。 ・5年では、図形の単元を学年初めの早い時期に配置している。その学習を活用して数量関係の領域を学習できるように配列されている。 ・単元前に次の学習のための既習の内容が確認できる問題が配置されている。
	○算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、筋道を立てて考える力が身に付くような、構成・配列・分量については、どのような特色があるか。	・各単元の導入の前に既習の内容を振り返り、問題解決の見直しをもたせられるように構成されている。 ・1時間の学習のめあてを明記し、何について自力解決をするのかがはっきり示されている。 ・計算問題では考える場面で□が数多く取り入れられて考える活動ができるように配慮されている。 ・発展問題では、「力をつけるもんだい」と称し、算数を学ぶ楽しさを実感できる問題を扱っている。	・計算では、式を立て、その式の意味を説明したり、計算の仕方を既習内容を活用して考える活動を多く取り入れた構成になっている。 ・単元の導入や問題解決の場面で算数的活動ができるよう十分に配慮されている。 ・計算問題では考える場面で□が数多く取り入れられ、考える活動ができるように配慮されている。	・各単元では、例題の問題数が多く、繰り返し既習の内容を活用し、数理的な処理のよさに気付くような構成になっている。 ・コラム「ことば」には、説明したり発表したりするとき用いるとよい語りはじめの言葉が記載されており、表現力を高めるための工夫が見られる。 ・数直線と表を活用して考えられるように工夫されている。 ・巻末に総合的・発展的に考える教材が配列されている。	・問題、考え方、まとめ、たしかめで構成されている。さらに、単元の「まとめ」に4コマ漫画を掲載したり、□に数字や言葉を記入するようにしたりしながら、単元全体を振り返ることができるように工夫されている。 ・巻末に、「学びの手引き」として学習内容に関連した既習事項がまとめられていて、振り返りができるように工夫されている。 ・発展・活用問題は、活動する楽しさを味わう教材を多く取り上げている。	・問題、考え方、まとめ、練習で構成されている。練習問題が多く、数理的な処理のよさに気付くように工夫されている。 ・学習のめあてを明記し、何について自力解決をするのかが明確に示されている。 ・巻末に、学習のまとめや様々な素材を扱った活用問題があり、数理的な処理のよさに気付くような構成になっている。	・各単元が、レディネス、問題、考え方、まとめ、練習の流れで、問題解決的な学習課程で構成されている。 ・ページの右側に自力解決時のヒントが示されている。 ・単元の学習後に算数活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付く資料が設定されている。 ・巻頭に「これまでに学習したこと」をまとめられていて、振り返りができるように工夫されている。
4 表記・表現	○レイアウトや図、表、グラフなどの表現には、どのような工夫が見られるか。	・場面絵や写真を多用して、学習問題を把握しやすくしたり、関心を高めたりする工夫が見られる。 ・見開き2ページで作図の仕方を写真で示したり、グラフを書き込んだりするなど、学年の発達段階に応じた紙面構成になっている。	・単元の学習でポイントとなる学習場面では、自分の考えを書くスペースを大きく設けている。 ・学習の振り返りをする場面を多く設けるとともに振り返りの視点を示すなど、言語活動や学び合いを促す工夫が見られる。 ・課題を右ページに示し、解決の仕方や考え方を次のページ掲載し、問題解決への意欲を引き出す工夫が見られる。 ・関係図については、図→テープ図→線分図→数直線図の指導の系統を明確にしている。	・単元の導入に写真を多用し、学習への関心を高めたり、問題場면을把握しやすくしたりするための工夫が見られる。 ・小単元毎に小見出しをつけ、何を学習するかを分かりやすく示すための工夫が見られる。 ・考えの類似点や既習との関連に気付くことができるように、吹き出しを活用する工夫が見られる。	・黒板を背景にして2つの考え方を並べて説明する場面を示すなど、児童の言語活動を促そうとする工夫が見られる。 ・場面絵や写真を多用し、問題を把握しやすくしたり関心を高めたりする工夫が見られる。 ・ページ下部に「言葉の広場」、「身のまわりの算数」など、関連資料を掲載している。	・図や写真を多用し、問題の把握や解決への支援となるように工夫されている。 ・単元の学習のめあてや1時間の学習のめあてが簡潔な文で示され、児童自身が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ・2量の関係を数直線に表す際、一方をテープ図で表すなど、状況に応じて表現を変える工夫が見られる。	・かけ算やわり算の筆算を、位取りや小数点に注意して計算できるよう枠を設けている。 ・広いスペースを用い、既習事項や考える視点を示したり、新たな活動を促したりする工夫が見られる。
	○マーク、用語、枠等の表記にはどのような工夫が見られるか。	・学習のめあてが濃いピンクのゴシック文字で強調され、課題を意識して学習できるよう工夫が見られる。 ・吹き出しを多用し、既習事項やヒントを言葉で示すなどの工夫が見られる。 ・考えるときの手がかりが星マークで示されていたり、問題が黄色、学習のまとめがピンクで枠取りされていたりして、視覚的に注目できるよう工夫されている。	・重要語句のみをゴシック文字で表し、強調している。 ・使用するキャラクターを一つにして、吹き出しで既習との相違や解決のヒント等を簡潔に示し、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ・りんごマークやえんぴつマークなど、児童が親しみやすいよう配慮されている。	・学習問題や用語、学習のまとめをゴシック文字で示し、ポイントをつかみやすくする工夫が見られる。 ・用語や重要語句のみにマークと枠を用いて強調することで、ポイントをおさえやすくする工夫が見られる。	・単元の学習のまとめを4コマ漫画にして示し、児童の興味を引くとともに、簡潔に学習内容を整理しようとする工夫が見られる。 ・重要語句や学習の要点が目立つよう、カラーで枠を用いて示すなど、振り返りが容易にできるような工夫が見られる。	・「きっかけ」「ふりかえり」「感想」を示し、考えの根拠や既習との関連、学習の振り返りを意識させる工夫が見られる。 ・学習のまとめには、何についての学習のまとめかを明記し、学習を振り返りやすくする工夫が見られる。	・単元末の問題を知識・理解「わかる」、技能「できる」、考え方「考えられる」の3観点に分けて提示する工夫が見られる。 ・鉛筆マークを用いて式を記入するスペースを設け、立式の重要性を訴える工夫が見られる。 ・「大切なことば」や「きまり」には、マークをつけ枠で囲み、見やすくするなどの工夫が見られる。
5 体裁。使用上の 便宜	○文字の大きさ、字間、行間、書体は、どのように配慮されているか。	・問題の字は大きく、説明や練習問題は小さくして見やすくしている。 ・数字は、字体を変え、ゴシック。 ・単元のめあては、濃いピンク色で目立つようになっている。 ・キャラクターによるヒントなどは、文字は小さいが、色がついていて目にとまりやすい。 ・練習問題の大事な問題には青色三角マークがついている。	・問題の字は大きく、説明や練習問題は小さくして見やすくしている。さらに問題部分には、色付けもしている。 ・問題文の数字や用語は、ゴシック体で表記されており、着目しやすい。 ・ふり仮名には、小さくても読みやすい書体を使用している。 ・練習問題では、タイプが変わる問題に色がついている。	・問題や大切なところは太字のゴシック体にし、変化をもたせている。 ・キャラクターによるヒントなどは、文字は小さいが、色がついていて目にとまりやすくなっている。	・問題の字は大きく、説明や練習問題は小さくして見やすくしている。 ・数字は、字体を変え、ゴシック体。 ・「?(はてな)」「!(なるほど)」のコーナーは、文字は小さいが、背景色がついていて目にとまりやすい。 ・計算問題の種類ごとに色がついている。 ・色覚の個人差を問わずに見やすいよう、「カラーユニバーサルデザイン」に配慮している。	・単元のめあてが、文字は小さいがオレンジ色で目立つようになっている。 ・問題、学習活動、練習の文字の大きさは同じで、他の教科書より小さい。 ・数字は、字体を変え、ゴシック体。用語は太字。	・問題の字は大きく、説明や練習問題は小さくして見やすくしている。 ・数字は、字体を変え、ゴシック体。問題の数字は、太字。

<p>○造本状の工夫や使用上の便宜について、どのように配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・再生紙、植物油インクを使用。 ・目次は、前の学習と後の学習が明記され、系統性が分かりやすくなっている。 ・6年は、数学へのジャンプとサブタイトルをつけ、巻末の方に中学校体験入学コースという問題のページが設定されている。 ・巻頭には、使い方が丁寧に書かれている。 ・巻末に、さく引があってすぐに調べられるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した紙、植物油インクを使用。表紙は抗菌加工をしている。 ・全学年とも、上下巻なしの1冊になっていて、1年間を見通したり、振り返ったりしやすくなっている。 ・巻頭には、使い方・学び方が掲載されている。学び方では、ノートと進め方を関連させていて、分かりやすい。 ・巻末には、「教科書にでてきた大切なことから」があり、言葉だけでなく計算の仕方なども調べられるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した紙、植物油インクを使用。 ・巻頭には、算数でよく使う考え方が提示されている。 ・巻末にさくいんがあって、ことばや記号をもとに、学習内容をすぐに調べられるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生紙、植物油インクを使用。 ・巻頭には、学習の進め方が具体的な問題を解いていく形で表されていてわかりやすい。 ・巻末には、学びの手引きを入れている。 ・巻末に、さくいんがあって、調べやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生紙、植物油インクを使用。 ・巻末には、充実した内容の算数資料集を入れている。 ・巻頭には、使い方・学習の進め方が書かれている。高学年には、「この本で学ぶみなさんへ」というメッセージが書かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生紙、植物油インクを使用。 ・他の教科書より横長になっていて、右端にヒントや振り返り問題などを入れている。 ・巻末に、わかりやすい学び方ガイドがついている。 ・巻頭には、学び方・ノートの作り方・使い方がわかりやすく書かれている。
--	---	--	---	---	---	---